

## 次作にむけての準備 (土づくりと太陽熱消毒)

大変ご好評をいただいたキュウリもトマトも6月中に栽培を終了し、次作にむけて、全学年でまず温室内の土壤に堆肥を散布しました。



堆肥を散布することで、

- ①土が団粒構造になり、野菜の根にとって良い環境になる、
- ②土壤の微生物層が豊かになり、病原菌の活動が抑制される。
- ③肥料成分の補給ができる、等の効果があります。

温室内の野菜がほとんど枯れることなく、美味しい野菜を実らせてくれるのもこの堆肥散布のおかげです。

堆肥散布のあとは、ビニールで土壤を覆い、太陽の熱で病原菌、害虫、雑草を消毒する「太陽熱消毒」を行いました。



一ヶ月ちょっとの期間、太陽熱消毒を行い、お盆過ぎからまたキュウリやトマトを定植する予定です。